

情報活用能力の育成カリキュラム（小学校編）

要素	概要	学習内容	情報活用能力の具体・本書掲載の実践事例		
			低学年	中学年	高学年
活動スキル	コンピュータや図書などのさまざまな情報手段を活用するための基礎的な知識・技能 	A1:記録と編集 A2:PCの操作 A3:ウェブ検索 A4:図書利用 A5:インタビュー A6:アンケート A7:メモ A8:口頭発表	○情報を集めたり、発信したりすることに関わる基本的な活動をマナーを守って行うことができる。 カメラをつかおう	○情報を集めたり、発信したりする際にコンピュータを含む情報手段を目的に応じて活用することができる。 ローマ字で言葉を入力しよう	○情報を集めたり、発信したりする際、情報手段の特性を意識して活用することができる。 ウェブで検索しよう
			○情報を編集（整理・分析や表現）する際、与えられた視点や観点のもとで工夫して取り組むことができる。 くらべてみよう	○情報を編集（整理・分析や表現）する際、学びの見通しを持って視点や観点を理解し、試行錯誤することができる。 調査に出かけよう	○情報の収集・編集（整理・分析や表現）・発信の過程を組み立て、目標を意識して評価・改善することができる。 情報を組み合わせて考えよう
探究スキル	収集した情報を精査し、整理・分析し、まとめ・表現する際に働く思考・判断・表現力 	B1:取捨選択 B2:読み取り B3:創造 B4:伝達内容の構成 B5:表現の工夫 B6:受け手の意識 B7:学習計画 B8:評価と改善	○問題の解決には手順があることを理解する。 ヒントカードをつかい クイズをつくろう	○問題解決や表現活動の際、コンピュータに与える論理的な手続きやデータをさまざまに工夫できることを体験的に理解する。 クイズをプログラミングしてみよう	○コンピュータを使った問題解決や表現活動を通して、情報技術の価値を社会や自らの将来に関連付けて考えることができる。 ヒントの出る問題や連続する問題をプログラミングしてみよう
			○自他の情報を大切にし、ルールを守って安全に情報手段を使用しようとする。 生活をみなおそう・友だちのまね	○情報手段の利便性と危険性を理解し、自他への影響を考えて使用しようとする。 使いすぎているかな	○情報社会の価値や課題を認識し、情報手段を適切に活用しようとしている。 自分と相手とのちがひ
プログラミング	問題解決の手順を理解し、コンピュータの特性をいかして思考・判断・表現する力 	C1:物事の分解 C2:情報の分類 C3:情報の関連付け C4:問題解決の手順 C5:試行錯誤 C6:データの傾向 C7:情報技術の将来	○問題の解決には手順があることを理解する。 ヒントカードをつかい クイズをつくろう	○問題解決や表現活動の際、コンピュータに与える論理的な手続きやデータをさまざまに工夫できることを体験的に理解する。 クイズをプログラミングしてみよう	○コンピュータを使った問題解決や表現活動を通して、情報技術の価値を社会や自らの将来に関連付けて考えることができる。 ヒントの出る問題や連続する問題をプログラミングしてみよう
			○自他の情報を大切にし、ルールを守って安全に情報手段を使用しようとする。 生活をみなおそう・友だちのまね	○情報手段の利便性と危険性を理解し、自他への影響を考えて使用しようとする。 使いすぎているかな	○情報社会の価値や課題を認識し、情報手段を適切に活用しようとしている。 自分と相手とのちがひ
情報モラル	情報社会や情報手段の特性の理解と、安全かつ適切に情報手段を活用しようとする態度 	D1:コミュニケーション D2:法と権利 D3:健康と安全 D4:ルール, マナー D5:セキュリティ D6:個人情報 D7:情報社会の将来	○自他の情報を大切にし、ルールを守って安全に情報手段を使用しようとする。 生活をみなおそう・友だちのまね	○情報手段の利便性と危険性を理解し、自他への影響を考えて使用しようとする。 使いすぎているかな	○情報社会の価値や課題を認識し、情報手段を適切に活用しようとしている。 自分と相手とのちがひ
			○自他の情報を大切にし、ルールを守って安全に情報手段を使用しようとする。 生活をみなおそう・友だちのまね	○情報手段の利便性と危険性を理解し、自他への影響を考えて使用しようとする。 使いすぎているかな	○情報社会の価値や課題を認識し、情報手段を適切に活用しようとしている。 自分と相手とのちがひ